

『駒込ダム本体建設工事』の落札者決定！

平成30年10月3日（水）に公告した「第811-1号 駒込ダム本体建設工事」は、開札を12月14日（金）に行い、平成31年1月4日（金）に落札者を公表しました。

今後、議会等所定の手続きを経て、正式に契約の締結をした後、駒込ダムの本体建設工事がいよいよ動き始めます。

引き続き、平成43年度（2031年度）の完成を目指し、職員一丸となって事業を進めていきます。

※詳しい入札結果は下記URLからご覧ください。

青森県建設業ポータルサイト：

<http://pub.pref.aomori.lg.jp/kouji/index.html>



駒込ダム完成予想図

駒込ダムの目的

- ・洪水調節（駒込川・堤川）
- ・河川環境の保全
- ・発電

冬、真っ只中の下湯ダム・浅虫ダム

年末の寒波襲来と年始の大雪のため、当所が管理する下湯ダムでは1月8日時点で115cm、浅虫ダムでは67cmの積雪が観測されています。

（※12月26日時点で 下湯ダム71cm、浅虫ダム41cm）

冬季間は、巡視・点検に時間を要することとなりますが、地域の皆様の安全・安心を確保するため、施設の適切な運用、効率的な維持管理に努めます。



下湯ダム

H30.12.26撮影（気温-5.5℃）



浅虫ダム

H30.12.26撮影（気温-3.5℃）



H31.1.8撮影（-2.9℃）



H31.1.8撮影（-1.2℃）

下湯ダムの目的

- ・洪水調節（堤川）
- ・河川環境の保全
- ・水道水の確保

浅虫ダムの目的

- ・洪水調節（浅虫川）
（洪水吐トンネルによる調節）
- ・河川環境の保全



新しい年を迎えて



明けましておめでとうございます。（鏡開きも過ぎた時期になり申しわけありません）
今年も、さまざまな形でダムに関する情報を発信していきますので、よろしくお願いします。

さて、冒頭に紹介のとおり、今年度の最大目標でもある「駒込ダム本体建設工事」の着手に向け、昨年末に工事の入札札を行いました。建設段階に入ってからすでに26年ほどの年月が経過し、昭和44年(1969年)の堤川・駒込川大水害から50年になろうとするこの時期に、これまでの経緯を思い浮かべると非常に感慨深いものがあります。

しかし、感慨にふけっている場合ではなく、新年を迎えたこの時期に、今一度気を引き締めて、堤川・駒込川の治水安全度の向上に大きく寄与する「駒込ダム」の本体建設工事を円滑に進め、一日でも早くその効果を発現させるため、職員のチーム力を発揮して業務に取り組んでいきたいと思いをします。また、管理している「下湯ダム」と「浅虫ダム」の洪水調節などの役割をしっかりと果たすため、今後も管理業務や改良工事を着実に進め、融雪や台風による洪水などに備えていきます。

今年も、職員一同よろしくお願いいたします。

(駒込ダム建設所 所長 石岡)

知っていますか？ ダムフォトコンテスト

(一財)ダム技術センターでは、ダムに関する研究成果及び知識を広く普及啓発するため、「ダムニュース」のメール配信、ダムフォトコンテストやホームページ運用などの様々な広報活動を行っています。

先月、「ダム」をテーマとした第33回「ダムフォトコンテスト」が行われました。

コンテストには総数272点もの応募があり、審査の結果、13作品が選ばれました。

13作品はカレンダーとして、表紙及び各月を飾っており、1月は「津軽ダム」が選ばれています。

(右画像：画像はダム技術センターHPよりダウンロードできます。)

また既に、第34回「ダムフォトコンテスト」の応募が始まっています。

応募は1人5作品まで、ダム堤体もしくは関連構造物が写っているものが対象です。

ダムの工事中、完成を問いません。

ただし、砂防ダムは除きます。

その他、詳しい応募方法等はダム技術センターHP（下記URL）からご確認ください。

<http://www.jdec.or.jp>



近年は12月でも積雪が少なく、ダムと雪景色の撮影は難しいのではないのでしょうか。

→ つまり冬の写真は今しか撮れません。撮るなら今ですよ！！

みなさん、ダムカードを集めながらいかがでしょうか？

お知らせコーナー

前述のとおり、駒込ダム建設事業はダム本体建設工事に着手という新たな段階を迎えています。

この機会に、ダムの建設・管理のことをより知っていただくため、これまでの「ダム新聞」という形について再検討を行い、次号にて今後の方針についてお知らせしたいと思いをします。